

事務事業マネジメントシート(平成26年度実績と平成27年度計画)

平成28年 2月18日更新

事務事業名		上水道配水施設等整備事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	2	緑豊かな環境と共生するまちづくり			所属部	水道局	課長名	可徳 精至
	施策	9	住環境の充実			所属課	上下水道課	担当者名	高岡 英之
	基本事業	24	水の安定供給			所属班	管理工務班	(内線)	1153
予算科目	会計企業	款	項	目	事業連番	法令根拠	地方公営企業法、水道法、合志市水道事業給水条例	成果優先度評価結果	②
								コスト削減優先度評価結果	-
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 26年度で終了 <input type="checkbox"/> 26年度から開始		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ 年度)					

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】	上水道の配水池等施設の整備を行う事業である。本事業は、豊富低廉な水の供給を図り公衆衛生の向上と生活環境の改善を目的として平成27年度から事業を実施している。水道利用者数(給水件数)は、本市の人口増加に伴い増加傾向(平成23年3月末19,798件→平成27年3月末22,085件)にあることから、計画的な配水施設の整備等を行い安定的な水の供給を図ることとしている。 なお、平成29年度に簡易水道事業が上水道事業へ統合予定である。
(開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	
【業務の流れ】	上水道の配水池等施設整備のための工事発注等業務。用地取得が必要な場合は用地交渉あり。 ①測量設計委託契約②実施設計書の作成③道路占用申請④工事請負契約の締結⑤上水道配水池等整備工事⑥竣工検査⑦支払い事務
【主な予算費目】	建設改良費(営業設備費) 工事請負費、委託料、用地購入費。
【意見や要望】	特になし。
関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1)事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
①手段(主な活動) 26年度実績(26年度に行った主な活動)(DO)	木原野水源地(配水池) 詳細設計等	27年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN) 木原野水源地(配水池) 造成工事等
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 箇所	予算の主な増減の理由 木原野配水池造成工事費の増
→ ア 上水道配水池等施設数		
→ イ		
②対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	市営水道利用者	②対象指標(対象の大きさを表す指標) (単位) 人
		→ ア 市営水道利用者数
		→ イ
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	安全で良質な水道水を安定的に使用できる	③成果指標(意図の達成度を表す指標) (単位) %
		→ ア 市営水道利用者数のうち安全で良質な水道水を安定的に使用できた利用者の割合
		→ イ
*③成果指標設定の理由と27年度目標値設定の根拠		総トータルコスト全体計画 ~ 年度
水道使用者に安定した水道水の供給ができた割合		0

(2)各指標・総事業費の推移		単位	24年度実績(決算)	25年度実績(決算)	26年度目標(当初予算)	26年度実績(決算)	27年度目標(当初予算)	28年度予定	29年度見込	30年度見込	
①活動指標	ア	箇所	9	9	10	10	9	9	15	15	
	イ										
②対象指標	ア	人	51,612	52,409	52,900	53,675	54,000	58,500	59,000	59,500	
	イ										
③成果指標	ア	%	100	100	100	100	100	100	100	100	
	イ										
投資入費量	財源内訳	国庫支出金	千円								
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円		271,200	180,040		213,500			
		その他	千円	101,189	58,748	77,160		91,500	10,000	10,000	
		繰入金	千円								
	一般財源	(A)事業費計	千円	101,189	329,948	257,200	0	305,000	10,000	10,000	10,000
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		正規職員従事人数	人	6	8	4	7	4	4	4	0
		延べ業務時間	時間	1,430	1,610	500	1,780	500	500	500	0
(B)人件費計	千円	5,821	6,414	1,992	7,091	1,992	1,992	1,992	0		
トータルコスト(A)+(B)	千円	107,010	336,362	259,192	7,091	306,992	11,992	11,992	10,000		

事務事業名	上水道配水施設等整備事業	所属部	水道局	所属課	上下水道課
-------	--------------	-----	-----	-----	-------

## 2 評価の部 (SEE)

\*原則は26年度の後評価、ただし複数年度事業は26年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①26年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】
	②27年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 木原野配水池の造成および弁天配水地の増設（配水タンク増設）を計画している。計画どおりに事業が進捗すれば、目標達成の見込みはある。
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 配水施設の増設・機能強化を進め、すべての市営水道使用者に安定的な水道水の供給することとしているため、成果向上の余地はない。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある⇒【理由】（具体的な手段、事務事業） <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 配水施設の整備等を行う類似事業はない。
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？（仕様や工法の適正化、住民の協力など）	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 最小限の予算で事業を行っているので削減余地は無い。
	⑥人件費（延べ業務時間）の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託できないか？（アウトソーシングなど）	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 最小の人員で、他事業（下水道整備）との兼務で事業に当たっており、これ以上の削減余地はない。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 すべての水道使用者に受益機会があり、同様に費用負担があるので公平・公正である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 インフラ施設の整備であり、市が行うべき事業であるため適正である。

## 3 評価結果の総括 (SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

配水池施設において、増設等の機能強化を図るとともに、老朽化した施設等の改築及び設備等の更新を進める、安定的な配水供給に努める。

## 4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (PLAN)

(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)																				
	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下		
				コスト																	
		削減	維持	増加																	
成果	向上																				
	維持		○																		
	低下																				
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策																					